

### “二十歳のつどい”開催！

1月7日(日)、中央公民館大ホールにて、令和6年余市町二十歳のつどいが開催されました。今年のお出席者104名は、平成15年(2002年)4月2日から平成16年(2003年)4月1日までに生まれた方で、鮮やかな振り袖やスーツに身を包み新たな一歩を踏み出しました。

式では、町長から激励の言葉が贈られ、成人代表からは感謝と決意の言葉が述べられました。

式終了後には、中学校生活の写真や恩師からのビデオメッセージが流れ、なつかしさと驚きのまじった歓声があがっていました。



▲ 成人代表挨拶



▲ スライドショー上映風景

### モルック

後期健康・スポーツ教室「モルック」は12月に2回行われました。

フィンランド発祥のモルックは、木製の棒を下手で投げて倒れたピンの内容によって得点を加算していく、どなたでも楽しめる簡単なスポーツです。

ナイスショットには参加者皆で喜び合いました。



▲ プレー風景

### 交通安全防犯講話

12月14日(木)、余市警察署員を講師に迎えて、寿大学・女性学級合同学習講座「交通安全・防犯講話」が開催されました。

交通安全では事故データをもとにした歩行時の安全対策や夜間の事故防止に効果がある反射材用品の活用、防犯では特殊詐欺の手口や対策について学習しました。



▲ 受講風景

### 公民館文化教室

公民館後期文化教室は、10月から12月にかけて実施され、書の楽しみ方(4回実施)、やさしいヨガ(5回実施)、文化財巡り(1回実施)の3教室にたくさんの方が受講し学習に励みました。



▲ 文化財巡り



▲ 書の楽しみ方

### かんじきウォーキングのお知らせ

かんじきを履き、雪の上をのびのびと歩いてみませんか。

日時：2月13日(火) 午前10時～12時

場所：ジャンプ台下

定員：10名 ※定員になり次第締め切り

問合せ：中央公民館(☎23-5001)

※かんじきをお持ちの方はご持参ください。貸出については若干数あります。

### 寿大学・女性学級の皆様へ

＝今月の学習案内＝

≪寿大学第11回学習講座≫

日時：2月8日(木) 午後1時30分～3時

講座名：『介護予防講座』

講師：坂本真貴子さん(フマネット余市支部長)

≪女性学級第10回学習講座≫

日時：2月19日(月) 午後1時30分～2時30分

講座名：『歴史探訪講話』

講師：学芸員



## 図書館のすてきな窓

問合せ 図書館 ☎22-6141  
https://www.yoichi-lib-net.ocn.ne.jp/  
開館時間 午前10時～午後6時30分

### 今月の展示ケース

よいち水産博物館と協力し、ゴールデンカムイに登場するアイヌ関連の展示物を集めました。

漫画や関連資料の特集コーナーも設けていますので、合わせてお楽しみください。

### 今月の特集コーナー

①冬のおま～い手作りおかし特集

バレンタインデー、ホワイトデーに合わせて、プレゼントにも、自分用のご褒美にもピッタリな甘いお菓子のレシピを集めました。本格的なものから、初心者でもできそうな簡単なレシピまで、たくさんのお本を置いています！

②あたたか～いごはん特集

冬といえば・・・鍋？シチュー？あたたかいご飯のレシピを集めてみました。ぜひ借りてみてください！

### 今月の休館日

・毎週月曜日

・2月29日(木) ※図書整理日

### 木曜映画会

木曜映画会は毎週木曜日、こどもえいがかい第1・第3土曜日で、どちらも午後2時からの上映です。

1日：秋刀魚の味(邦画)

8日：ティファニーで朝食を(洋画)

15日：ハチ公物語(邦画)

22日：旅立ちの時(洋画)

### こどもえいがかい

3日：魔女の宅急便

17日：それいけ！アンパンマン

みなみの海をすくえ！

### おはなしかい

今年度は生活に関係する絵本を読み聞かせします！ぜひご参加ください。

日時：2月10日・17日(土) 午前11時～

場所：図書館1階おはなしコーナー

今月のテーマ：「おやすみなさい」



## 博物館文化財ニュース

問合せ 博物館 ☎22-6187  
≪冬期閉館中≫

### 資料紹介「イモガイ状土製品」

このぐるぐる渦巻模様のものは、余市町で見つかった「イモガイ状土製品(内面渦巻状土製品)」と呼ばれる縄文時代の装飾品です。一見ただの渦巻模様に思えますが、実は縄文人の強い憧れによって生み出されたものなのです。この渦巻きデザインのモデルはイモガイと呼ばれる円錐形の巻貝で、千葉県房総半島から南の暖かい海に広く分布します。

イモガイの平らな殻頂部の面には渦巻があり、この殻頂部を切り取った渦巻き中央部に孔を開けた装飾品が最北の島、礼文島の船泊遺跡で見つかっています。しかし、暖かい地域にしか生息しないイモガイは、東北や北海道の人にとって大変貴重で、それを材料とした装飾品は憧れの存在だったようです。

そのため「欲しい！けど手に入らない！作っちゃえ！！」とイモガイ装飾品に似せた土製品や石製品が生まれたと考えられます。

本物のイモガイと比べるとどうでしょうか？なんとなく、イモガイの雰囲気は出ているように思いませんか？



イモガイ状土製品(渦巻状)

イモガイの殻頂部